

千葉県東総文化会館指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名等

施設名	千葉県東総文化会館
指定管理者	公益財団法人千葉県文化振興財団
指定管理期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
評価対象年度	令和5年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	県東部地域における文化芸術振興の拠点として、地域における文化活動支援や鑑賞機会の拡充を図る。
指定管理者が行う業務の範囲	① 文化活動のための施設の提供 ② 集会のための会場の提供 ③ 県民の文化芸術の振興を図るための事業の企画及び実施 ④ その他文化会館の設置の目的を達成するための業務

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人) ※1	事業費等の内訳（千円）				
		指定管理料 (A)	その他維持 管理費(B) ※2	使用料等 県収入(C)	県の収支 (C-A-B)	(参考) 利用料金
令和5	84,815	150,186	28,306	57	△178,435	24,788
(参考) 令和4	55,883	152,047	94,085	56	△246,076	19,313

※1 カウント方法：施設全体（大ホール、小ホール）の利用者数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれているものを除く）

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	A	千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営を行った。個人情報及びデータは適正に管理されていた。県への定期的な報告、日常の相談や連絡等も適切に行われた。
	S	職員による日常点検に加え、「施設維持管理年間作業計画表」を作成し、専門業者等による定期点検を計画的に実施した。舞台及び設備スタッフが高所作業にあたる際には、労働安全衛生法の基準に則った、新規格のフルハーネス型安全帯とヘルメットを着用し、安全第一での作業を徹底した。

	適切な管理運営	A	警備、清掃等は催し物の状況に応じて適切に実施されており、主催者に対しては、イベント運営や舞台全般に対するきめ細かい助言を行った。職員がサービス介助士の資格を取得し、来所者の問い合わせや要望に迅速に対応するなど、あらゆる人が利用しやすい環境整備に努めた。
	適切な財産管理	A	舞台・照明・音響設備については、職員による日常点検と専門業者による点検を計画的に行い、適切な維持管理を行った。点検で確認された不具合や突発的に発生した設備機器の不具合や故障について、適切に対応した。また、有資格者が日頃から細部にわたり自主点検を行い、専門業者と情報交換を行う等保全管理に努めた。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業)	S	令和5年度は当初計画していた27事業に1事業を追加し、28事業の実施を予定していたが、インターンシップを中止し、計27事業を実施した。 RISE Projectにおける公演「RISE Project TOSO 吹奏楽フェスティバル」や、東総の文化を紡ぐ会を主体としたワークショップ「ルーエプロジェクト たのしい・うきうき こども創作体験ワークショップ」などの県民参加型事業や、「ヴェロニカ・エーベルレ」「實川風」「クアルテット・エクセルシオ」などの世界を舞台に活躍するアーティストによる質の高い事業など計11公演を千葉県誕生150周年記念事業として実施した。 また、地域の魅力、賑わいを創出するため、ちばゆかりのアーティスト西方正輝によるコンサートを道の駅で行うなど、県東部地域の文化芸術振興の拠点施設として、多彩な事業を企画し、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	A	職員による積極的な支援など、ソフト面のサービス充実を心がけるとともに、利用者からの要望にも迅速に対応した。また、県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館の主催事業の情報が一元化されたイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの4館取り扱いなど、利便性向上を図った。地元市や地域のアーティストと連携した文化事業、幼稚園やこども園でのアウトリーチ事業、学校と連携したギャラリー展示、社会科見学 of 積極的な受入など、地域との連携を深め、地域の方に親しまれる施設の管理運営に取り組んだ。
施設利用状況に関する事項		A	利用人数については、感染症影響前の平成30年度との比較では減少したが、大ホールの利用率及び利用回数については増加しており、利用料収入についても同程度まで回復している。昨年度との比較では、ホームページ等による広報など、積極的に施設の利用促進に取り組んだ結果、大ホール利用率は58.6%（前年度57.3%）と増加した。また、利用料収入も事業計画を上回った。
管理運営体制		A	施設を管理運営するために必要な組織、人員配置を整え、適切に運営した。危機管理対策や事業企画、アトマネジメントなど、様々な研修機会を設け、職員の能力向上に努めた。
収支状況		A	光熱費高騰による影響を受ける中、利用料金収入の増や新たな

		助成金獲得、経費の縮減などに取り組み、黒字となった。
利用者意見の反映 利用者満足度	A	フロアーにアンケートボックスを設置し、利用者、来場者からの意見に対して、迅速に対応した。施設全体の満足度については、「満足」と「やや満足」で98.2%と高い満足度を得ている。
総合評価	良好	各項目の合計点数 22点/30点(73%) 各項目の評価点数の平均点 2.2点

(2) 特記事項

特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興事業においては、世界を舞台に活躍するアーティストによる質の高い事業を実施するとともに、地域のアーティストと連携した事業を企画するなど、地域の特性を活かした多彩な事業を展開し、県東部地域の文化芸術振興の拠点施設として、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。 ・施設の管理運営については、利用者が安全に安心して利用できる環境を整えるとともに、利用者の目線に立った質の高いサービスを提供し、高い利用者満足度を維持することができた。
次年度に向けて改善が望まれる点	特になし。
前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	該当なし。

(3) 第三者評価におけるその他の意見

第三者評価は実施していない。